レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
ダイヤモンドステークス	ハンデ	GIII	東京	芝3400m	良想定	瞬発	中荒れ	D

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ナムラドノヴァン	内田博	ディープリランテ	ディーブインパクト	Kingmambo	キングマンボ	53	C	A	C	C	B	B	6	▲	4
2	ダノンテイエオー	津村	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Dr Fong	ロベルト	53	E	E	E	C	E	E	16	消	14
3	オーソリティ	川田	オルフェーヴル	ステイゴールド	シンボリクリスエス	ロベルト	56	B	C	B	B	B	B	1	☆	2
4	ヒュミドル	吉田豊	オルフェーヴル	ステイゴールド	チチカステナンゴ	グレイソヴリン	55	B	B	B	A	A	A	3	◎	5
5	サトノガーネット	岩田望	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Victory Note	ノーザンダンサー	55	D	D	D	C	D	D	13	消	12
6	ブラックマジック	石橋脩	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Sholokhov	サドラーズウエルズ	54	C	C	B	C	C	C	4	△3	11
7	ミスマンミア	松若	タニノギムレット	ロベルト	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	53	C	D	D	B	D	D	11	消	10
8	ジャコマル	田中勝	ダノンシャンティ	フジキセキ	トニービン	トニービン	54	C	C	C	C	C	C	12	△5	7
9	メイショウテンゲン	横山典	ディーブインパクト	ディーブインパクト	フレンチデピュティ	ガイストジェット	56	D	D	D	C	E	E	10	消	16
10	グロンディオーズ	三浦	ルーラーシップ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	54	C	B	B	B	B	B	7	○	1
11	ボスジラ	横山武	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Mr. Greeley	ミスターダンサー	56	C	D	C	C	C	D	5	消	9
12	ワセダインプルー	大野	ハービンジャー	ディンヒル	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	54	D	C	D	C	D	D	15	消	13
13	ボンデザール	ルメール	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Rossini	ミスターダンサー	54	C	D	D	A	B	C	2	△4	3
14	タイセイトレイル	北村宏	ハーツクライ	サンデーサイレンス	シンボリクリスエス	ロベルト	55	C	B	B	A	C	C	9	△1	8
15	パフォーマブロミス	Mデムーロ	ステイゴールド	ステイゴールド	タニノギムレット	ロベルト	57.5	C	B	C	A	B	C	8	△2	15
16	アイスバブル	武藤	ディーブインパクト	ディーブインパクト	キングカメハメハ	キングマンボ	55	C	D	B	C	D	D	14	消	6

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>東京競馬場の芝コースの中でも最長距離で行われるダイヤモンドステークス。一見すると豊富なスタミナだけが問われるレースに見えるが、この重賞はそこまでスタミナー辺倒のレースではない。過去5年のレース結果を見ても、2017年と2019年は勝ち馬の上がり時計が33.4という速さ。同じ東京の長丁場の重賞のアルゼンチン共和国杯や目黒記念と比べてもレース上がりが速くなる傾向にあり、ただスタミナがあるだけの馬ではダイヤモンドステークスで好走することはできない。</p> <p>だいたい年では前半から中盤部分がかなり緩むので、極端にスタミナを消費するような展開にはならない。最初の2800mをキャンターのような遅いペースで周回し、残り600m程度でようやくペースが上がって直線部分で決め手が使える馬が走りやすいレースと言える。この事からも、あんまりスタミナに偏りすぎている馬を買ってもダメなレースだろう。</p> <p>※昨年に関してはレース傾向とは真逆で、中盤ペースが非常に速くなったことで最後は上がりがかかり放題の消耗戦に。レース上がりが38.1もかかるような展開になることはまずないと見て良さそうで、基本的にはレース上がりは35秒前後で収まる。</p> <p>今年出走メンバーを見ても、溜めて脚を伸ばして良さが出るタイプの馬ばかりですし、ほぼ間違いなくスローペースになると見て良さそう。最初の2800mの周回部分でしっかりと折り合えて脚を溜めることができ、なおかつ最後に東京競馬場の長い直線でピュンと伸びてこられるような馬を狙うのがいいと思います。</p> <p>本命はまだ強いとバレきっていない◎ヒュミドルが面白そうだ。ずっとダートを使われていた馬だが、芝に戻してからのパフォーマンスが素晴らしいもの。2勝クラス勝ちでは福島芝2600mでスタミナを見せていますし、3勝クラス勝ちでは合うとも思わなかった芝1800mの瞬発戦で勝利。厩舎や血統が地味なので話題になっていないが、この馬はかなり強いんじゃないだろうか？今回の条件への適性も合うと思います。</p>

REVIEW
<p>例年のダイヤモンドステークスと同様に前半から中盤はかなりゆったりとした流れ。そこからラスト5ハロンのロンスバ戦になり、長く脚を使える馬が上位に来た感じ。オーソリティが一旦は先頭に抜け出したが、しっかりと脚を溜めていたグロンディオーズが差し切って勝利。</p>

※文字色の意味 2021/2/20

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴		
直線の長い東京競馬場をグルグルと回るレース。基本的にペースは上がりにくい。		
馬場レベル&バイアス		
B=やや高速		
血統傾向		
スタミナと瞬発力を兼ね備えている血統の好走が目立つ。ハーツクライ産駒やステイゴールド産駒の好走が目立っている。		
展開		
先行馬が少なくスローペース濃厚。前半から中盤がゆったり進んでの決め手勝負になるんじゃないだろうか。		
データなど特記事項		
○1番人気 (6-1-0-3) ○2番人気 (1-2-3-4) ○4歳 (3-3-4-11)14.3% 28.6% 47.6% ×7歳以上で前走10着以下(0-0-0-28) △関西馬で当日7番人気以下(0-0-1-41) △ハンデ56kg以上で当日6番人気以下(0-0-1-20) △前走重賞だった馬で当日5番人気以下(0-0-2-44)		
危険な馬		
ボンデザール=戦績を見ても明らかに夏の北海道だけ好走している感じの馬。ハーツクライ産駒でサトノクラウンの半妹という血統背景だけに決め手勝負には弱いんだらう。ステイヤーズSは超スローペースを途中で動いたルメール騎手の判断が全て。東京コースの決め手比べはいかに合わない感じ。		
妙味大な馬		
ナムラドノヴァン=今年の万葉Sは格上挑戦での勝利でしたが、もともと素質は評価していた馬で、かなり早めのタイミングから終始外を通って突き抜けたパフォーマンスは普通に優秀だったか、ある程度長めの距離で相対的な瞬発力の高さと脚の持続力を活かして良さそうなタイプ。		
穴馬		
ヒュミドル=ずっとダートを使われていた馬だが、芝に戻してからのパフォーマンスが素晴らしいもの。2勝クラス勝ちでは福島芝2600mでスタミナを見せていますし、3勝クラス勝ちでは合うとも思わなかった芝1800mの瞬発戦で勝利。厩舎や血統が地味なので話題になっていないがこの馬はかなり強い。		
想定時計		
超長距離戦なので想定不能	上3F	下3F
想定ラップタイム		
超長距離戦なので想定不能		

Copyright (C) 2014 - KAZ
All Rights Reserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。